

Art|Basel Hong Kong

プレスリリース

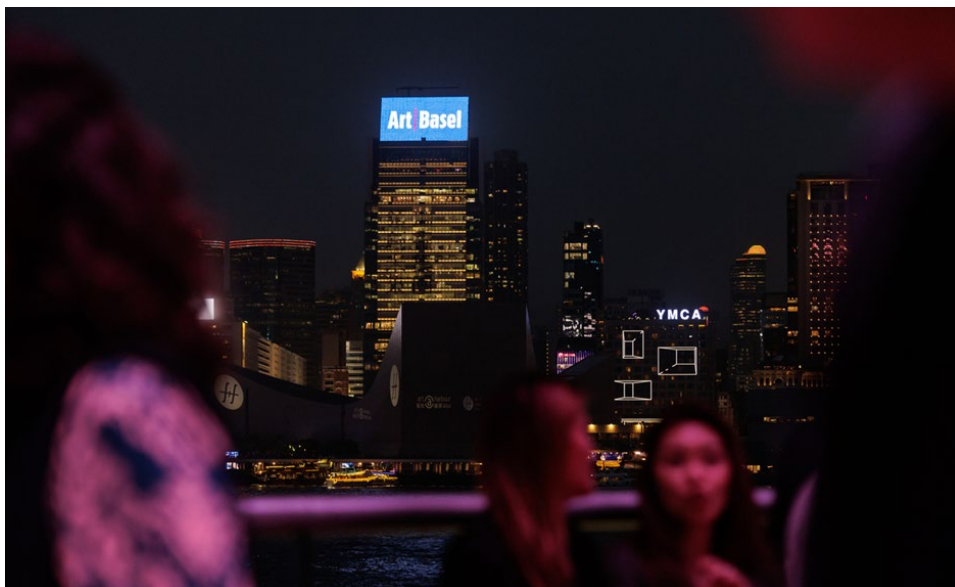
香港 | 2024 年 10 月 31 日

アートバーゼルは、2025 年に香港で開催するフェアの出展ギャラリーと見どころの第一弾を発表します。刺激的なプログラムを通じて、香港の街や、新規来場者とリピーターの双方との結びつきを深めていきます。

- 世界 42 の国と地域から選りすぐりの 241 ギャラリーが集結。アジアで世界水準の現代アートを体感できる最高峰のアートフェアとしての役割を改めて確かなものとしします。
- 参加ギャラリーの過半数がアジア太平洋地域から参加しており、同地域のアーティストたちの活動を積極的に後押しするという本フェアの使命を体現しています。
- インド、オーストラリア、コソボ、グアテマラ、ナイジェリア、南アフリカ、アメリカ、イギリス、ドイツ、大中華圏から 23 のギャラリーが初出展。フェアに新たな視点と芸術表現の多様性をもたらします。
- 香港の独立芸術機関パラサイトと初めてタッグを組み、一般無料公開されるフィルム・プログラムを共同企画。地元アートシーンとの協働をより一層深めていきます。
- 新進アーティストの支援を目的とした MGM ディスカバリーズ・アートプライズを新設。2025 年の第 1 回受賞者には賞金（アーティストと出展ギャラリーで分配）とマカオでの展示機会が贈られます。
- アートバーゼルと M+ の共同委嘱作品として、UBS の提供のもと、M+ファサードにホー・ツーニエンの《Night Charades》を展示予定。香港映画の象徴的なシーンをアニメーションで新たに描き出します。
- 街全体で展覧会や文化イベントが繰り広げられる充実の 1 週間の中心として、グローバルリードパートナーに UBS を迎えたアートバーゼル香港が香港コンベンション&エキシビションセンター（HKCEC）で開催されます。会期は 2025 年 3 月 28 日から 30 日まで、内覧会は同年 3 月 26 日、27 日に行われます。

アートバーゼル香港は 2025 年の出展ギャラリーと開催概要を発表します。会期は 2025 年 3 月 28 日から 30 日まで、香港コンベンション&エキシビションセンター（HKCEC）で開催します。世界 42 の国と地域から 242 ギャラリーが集結し、グローバルな多様性と地域性を大切にする本フェアならではの幅広い芸術表現が一堂に会します。また、参加ギャラリーの半数以上をアジア太平洋地域が占めており、同地域の活気あふれるアートシーンを世界に発信するプラットフォームとしてのアートバーゼルの重要性を示しています。

Art|Basel Hong Kong



毎年3月に香港で開催されるアートバーゼル香港。

フェアの中心となるのは、有力ギャラリーが集結する「ギャラリーズ」部門、個展形式で新進アーティストを紹介する「ディスカバリーズ」部門、そしてアジアおよびアジア太平洋地域のアーティストによる企画展示を展開する「インサイト」部門です。

本年のギャラリーズ部門には、日本、韓国、インド、シンガポール、タイ、トルコ、オーストラリアより、新進気鋭のギャラリーから中堅、トップギャラリーまで、アジア太平洋の精鋭が集います。そのなかでも、ローリー・シャビビ（ドバイ）、ロッシ&ロッシ（香港）、P420（ボローニャ）、ロンキニ・ギャラリー（ロンドン）による個展は必見です。インサイト部門では、アジアの写真史に新たな光を当てる展示を実施。フラワーズ・ギャラリー（香港、ロンドン）、亜紀画廊（台北）、Takuro Someya Contemporary Art（東京）、Yutaka Kikutake Gallery（東京）、ザ・ドロージング・ルーム（マニラ）が参加します。ディスカバリーズ部門では、北京からプリシュティナまで、多様な地域の新進ギャラリーが刺激的なセクションを紹介します。

今回、全部門にわたり 23 の新規ギャラリーが加わります。ギャラリーズ部門ではケープタウン、ベルリン、ニューヨークから、インサイト部門では香港、ノイダ、メルボルンから新たなギャラリーが参加。さらに、フェアの中心となるギャラリーズ部門には、大中華圏をはじめ、インド、アラブ首長国連邦、カナダ、オーストラリア、イギリスから 8 ギャラリーが初参加。アートバーゼル香港が地域の発展に寄与していく姿勢を表しています。

アートバーゼル香港のディレクター、アンジェル・シヤン＝ルーは次のように語ります。「2025 年のアートバーゼル香港には数多くの優れたギャラリーが参加を表明し、アジアの文化交流の拠点として、また目覚ましい発展を続けるアジアのアートシーンを牽引する存在として、本フェアの地位を改めて示すことができました。私たちは地元のアートシーンやその担い手たちとの関係をさらに深めていきたいと考えています。その第一歩として、香港を代表する非営利団体パラサイトと一般無料公開のフィルム・プログラムを初めて共同開催するほか、来年の会期中には MGM ディスカバリーズ・アートプライズの第 1 回受賞者が決定します。また、アートバーゼルと UBS が先日発表した「グローバル・コレクティング 2024」レポートによれば、中国本土の富裕層が 2023 年と 2024 年上半期に美術品・骨董品に費やした金額は世界最高を記録し、他のどの地域と比べても 2 倍以上の規模に達しました。このことから、翌年 3 月の本フェア開催に向けて期待が高まっています」

一般無料公開のフィルム・プログラムは今回、香港の独立芸術機関パラサイトが初めて企画を担当します。これは本フェアが地元の芸術機関との連携を深め、香港のアートシーンをより一層盛り上げ

Art|Basel Hong Kong

ていくための新たな試みです。このプログラムではアジアを含む世界各地の映像作家による作品を紹介し、地域の枠を超えたグローバルな視点を展開していきます。

パラサイトのエグゼクティブ・ディレクター兼キュレーター、ピリー・タンは次のように語ります。「パラサイトには、さまざまな分野で活動する革新的なアーティストを見出し、その活動を広く知らしめていくという重要な使命があります。とりわけ、目覚ましい進化を遂げているムービング・イメージ分野に注目しています。昨今では、ムービング・イメージは多様な感覚世界をつなぎ、アーティストの表現に新たな可能性をもたらす力を持っています。今回、組織として招かれ、私たちの優れたキュレーターチームの力を結集できる機会をいただき、大変光栄です。このコラボレーションにより、フェアの枠を超えて、さらに充実したプログラムを展開できることを楽しみにしています」

新進アーティストの支援と新たな才能の育成を目的としてアートバーゼル香港で新設される「MGM ディスカバリーズ・アートプライズ」は、2025年に第1回受賞者を選出します。来年3月のアートバーゼル香港会期中に発表される受賞者には、アーティストと出展ギャラリーで分配される賞金5万米ドルが授与されるとともに、マカオでの作品発表の機会が与えられ、若手アーティストのコミュニティとの有意義な交流や特別なアートプログラムにも参加することができます。

アートバーゼルとM+の共同委嘱作品として、UBSの提供のもと、M+ファサードではシンガポール人アーティスト、ホー・ツーニエンの新作《Night Charades》を展示します。本作は香港の豊かな映画文化への賛辞として、AIによる映像の再構築とアルゴリズムによるリアルタイムの再編集を通じて、歴史に大胆かつ新たな解釈を加えていきます。香港映画という比類なき遺産の集合的記憶を想起させながら、未来へ向けた新しいビジョンを生み出します。



シンガポール人アーティスト、ホー・ツーニエン（撮影：ステファン・コース）（a+ Singapore 提供）

ギャラリーズ部門

ギャラリーズ部門には、世界最高峰の195ギャラリーが集結し、各ギャラリーが誇る多彩なプログラムから厳選された作品をご紹介します。20世紀の巨匠から現代アートの第一線で活躍するアーティスト、中堅作家、そして新進気鋭の才能まで、幅広いアーティストの作品が一堂に会します。また、一部のギャラリーでは、一人のアーティストに焦点を当てた見応えのある個展を開催します。

Art|Basel Hong Kong

- ギャラリーズ部門に初参加となるローリー・シャビビ（ドバイ）では、UAE の前衛芸術を代表するモハメド・アフメド・イブラヒムの個展を開催。自然をモチーフにした躍動感あふれる絵画と彫刻を展示します。
- ロッシ&ロッシ（香港）は、シア・アルマジヤニの陶芸作品とカリグラフィーを出品。2009年にイランで巻き起こった抗議運動が作家自身に及ぼした影響を痛切に表現した作品群です。
- P420（ボローニャ）は、ドイツ系イタリア人アーティスト、故イルマ・ブランクの回顧展を開催。文字とドローイングの関係性を探り続けた50年の軌跡をたどります。
- ロンキニ・ギャラリー（ロンドン）では、中井克巳の個展を開催。東西の感性が融合した表現で、キャンバスという物質と向き合う作品の数々を紹介します。

ギャラリーズ部門には、以下のギャラリーを含む8ギャラリーが今年初参加します。

- ブランク・プロジェクト（ケープタウン）は、イグシャーン・アダムスの個展を実施。南アフリカの伝統舞踊をモチーフに織り上げた大型タペストリーを展示します。
- エニマス・バステリアン・ファイン・アート（ベルリン）は、ヨーゼフ・ボイスの彫刻作品とアンディ・ウォーホルの肖像作品を並置し、20世紀美術に貢献した両作家の足跡をたどります。
- ニセル・ポーシェヌ・ギャラリー（ニューヨーク）は、トウンジ・アデニイ＝ジョーンズ、メアリー・リー・ベンドルフ、ルイズ・デスポント、ヴィオレタ・マヤ、クエンティン・ジェームズ・マカフリー、ルーシー・パルス、エレノア・レイ、デイビッド・ベンジャミン・シェリーによる新作と代表作を展示します。

アートバーゼルの新進ギャラリー育成への取り組みの一環として、これまでインサイト部門とディスカバリー部門で展示を重ねてきたギャラリーが新たにギャラリーズ部門に加わります。その多くは大中華圏からの参加で、以下のギャラリーが含まれます。

- CLC ギャラリー・ベンチャー（北京）では、10名のアーティストによるグループ展を開催。ナブチー、ウー・ディー、ワン・シュアン、ウェン・イーペイ、リウ・ディン、リウ・ジャーユー、チャン・ミャオ、チャン・シュージェン、ファン・シー、クリスチャン・ラドウータが、ポップアートとモダニズムの関係性を探る最新作を発表します。
- 拾萬空間（Hunsand Space）（北京、杭州、石家荘）は、チャン・ドンファイ、ヤン・ヤン、リー・シンヤオ（チュアンズ）をはじめとした作家による、思索を促す絵画や彫刻、インスタレーション作品を展示します。
- ヴァンガード・ギャラリー（上海）からは、リン・ティエンミャオ、オノデラユキ、ジン・ハオファン、シャオ・ジャンが出品。4名のアーティストが資本主義社会の不確実性に向き合う絵画、インスタレーション、写真作品を紹介します。
- ギャラリー・ヴェイカンシー（上海）は、チェン・ティンジュン、ヘンリー・カーチョッド、アリス・ゴン・シャオウエン、ヴィヴィアン・グレヴェン、マイケル・ホー、ホアン・コーウェイ、ルーテ・メルク、ポン・クー、シドニー・シェン、スン・ウーの作品を展示します。
- アジア・アート・センター（台北、北京）は1950～60年代の台湾における前衛芸術運動に光を当て、チュウ・ウェイポー、チュアン・チェ、フォン・チョンレイ、リー・シーチーの作品を紹介します。
- ジャヴェリ・コンテンポラリー（ムンバイ）は南アジアの表現者たちに焦点を当て、ラナ・ベガム、ルブナ・チョーダリー、シムリン・ギル、アリ・カジム、マシュー・クリシャヌ、ハーミンダー・ジャッジ、ヴァサンタ・ヨガナンタンの作品を展示します。
- ダスタン・ギャラリー（テヘラン、トロント）では、レザ・アラメッシュ、ホマ・デルヴァレイ、ビタ・ファイヤジ、ファルハド・モシリによる、テキスタイルアートの新たな可能性を追求した作品を紹介します。

Art|Basel Hong Kong

- **レイヤ**（ウィーン）は、アンナ・アンドレーヴァ、リア・ケ・イー・チェン、フィリップ・ティミシュル、アンナ＝ゾフィー・ベルガーの作品を通して、東西の表現を時代を超えて結びつける試みを展開します。
- **プロジェクト・ネイティブ・インフォーマント**（ロンドン）からは、DIS、ジュリアナ・ハクスタブル、ショーン・ステッドマン、ソフィア・アル・マリア、シュウ・リー・チャン、アン・テウオンが、アナログとデジタルの実践の間を探る作品を出品します。

ギャラリーズ部門には、一時期参加を見合わせていた以下のギャラリーが復帰します。

- **ブラム**（ロサンゼルス、東京）は、刷新されたプログラムのもと、アルヴァロ・バーリントン、ソニア・ゴメス、マーク・グロッツマン、奈良美智、ローレン・クインらの作品を紹介します。
- **日動画廊**（パリ、東京）は、独立美術協会で活躍した歴史的な日本画家たちの作品と、ピンリン・ホワン、今西真也、リュウ・ジーホンによる現代の風景画の関係性に焦点を当てます。
- **ギャルリ・イザベラ・ボルトロツィ**（ベルリン）は、ポッド・メラの個展を開催。テレビや映画のイメージを再解釈し、アイデンティティ、欲望、社会的役割を探る近作を展示します。

ギャラリーズ部門には以下のギャラリーが再び加わります。

- **クリマンズット**（メキシコシティ、ニューヨーク）からは、ロベルト・ヒル・デ・モンテス、ガブリエル・オロスコ、ヤン・ヘギュ、ペトリット・ハリライ、ナイリー・バグラミアンが、さまざまな表現手法で制作した作品を出品します。
- **グリーン・ナフタリ**（ニューヨーク）は、来年3月に上海油罐芸術中心（TANK Shanghai）で個展開催を控えるジャクリン・ハンフリーズをはじめ、ルバイナ・ヒミッド、ウォルター・プライス、アリア・ディーン、リチャード・ホーキンス、シモーヌ・ファタールの作品を紹介します。
- 共同出展の**アルメイダ&ダレ・ガレリア・デ・アルテとミラン**（ともにサンパウロ）は、アジアとブラジルの人々の移動と文化交流をテーマに、マナブ間部、ミカ・タカハシ、ティカシ・フクシマ、大竹富江らの作品を展示します。
- **ティナ・キム・ギャラリー**（ニューヨーク）は、周縁化と記憶をめぐる中堅・ベテラン作家たちの作品とともに、1950年代から2000年代にかけて精緻な大型タペストリーを制作し、ファイバーアートやテキスタイルアートの分野に多大な功績を残したイ・シンジャの作品を初めて紹介します。
- **セルマ・フェリアーニ・ギャラリー**（チュニス、ロンドン）は、北アフリカとアラブの文化遺産に根ざした物語を紡ぐサイフ・アズーズ、ナディア・アヤリ、フィルワ・ナゼル、アブデラザク・サーリの作品を紹介します。
- **アクアベッラ・ギャラリーズ**（ニューヨーク、パームビーチ）は、ジャン＝ミシェル・バスキア、エドガー・ドガ、パブロ・ピカソ、キース・ヘリング、ジャスパー・ジョーンズ、アンリ・マティス、ジャクソン・ポロックによる近現代の代表的作品を展示します。
- **マッツォレーニ**（トリノ、ロンドン）は、視覚的知覚と光学的効果を探求した作品群を特集。ヴィクトル・ヴァザルリ、ルーチョ・フォンタナ、アゴスティーノ・ボナルミ、カルラ・アッカルディ、ジュゼッペ・カポグロッシ、サルヴォの作品を展示します。
- **マシュー・マークス・ギャラリー**（ロサンゼルス、ニューヨーク）は、所属作家のチェン・シンイー、ヴァンサン・フェクトー、カタリーナ・フリッチュ、エルズワース・ケリー、シモーヌ・リーらの作品を紹介します。

ギャラリーズ部門の参加ギャラリー一覧は、artbasel.com/hongkong/galleries をご覧ください。

Art|Basel Hong Kong

ディスカバリーズ部門

ディスカバリーズ部門は新進のアーティストとギャラリーに焦点を当て、一人のアーティストによる近作展示を通して新たな芸術的視点を紹介します。全 22 ギャラリーのうち、半数以上がこの 10 年以内に設立された新しいギャラリーです。

今回のアートバーゼル香港では、ディスカバリー部門に 10 のギャラリーが初出展します。

- **墨方 (Mocube)** (北京) はジュ・ティエンの個展を開催。パフォーマンス、映像インスタレーション、思弁哲学的なテキストを通して、現代のナルシシズムをはじめとする知的・文化的な危機を探求します。
- **スイートウォーター・ベルリン** (ベルリン) はカヨデ・オジョによるマルチメディア・プロジェクトを展示。フルーツを用いて制作された大型の吊り下げ彫刻を中心に、ネックレスというモチーフの多面的な展開を試みます。
- **エマリン** (ロンドン) はスン・テウの新作インスタレーションを紹介。ミニマリズムの美学、ガスボンベ、歴史あるコインを用いて、フランスによるインドシナ植民地支配の歴史を考察します。
- **プロパティ・ホールディングス・ディベロップメント・グループ** (香港) はミシェル・チューによるインタラクティブなインスタレーション作品を展示。家庭の台所を模して、料理と喪失というテーマを探求します。
- **ラムダラムダラムダ** (プリシュティナ) は、クロアチアのアーティスト、ハナ・ミレティッチによる新作の手織りテキスタイル作品を展示。ケア、喪失、修繕の痕跡が映し出す歴史をテーマに展開します。
- **パーク・ビュー／ポール・ソト** (ロサンゼルス、ニューヨーク) はナ・ミラの近作を紹介。記憶、祖先、母系シャーマンの系譜を探るテレサ・ハッキョン・チャのアーカイブとのコラボレーション作品です。

ディスカバリーズ部門には、一時参加を見合わせていた以下のギャラリーが復帰します。

- **P21** (ソウル) は、韓国人アーティスト、シン・ミンの彫刻とドローイングを展示。サービス業で働く女性たちの厳しい現実に向き合う作品です。
- **レトロ・アフリカ** (アブジャ) は、サミュエル・ンノロムによる大型のテキスタイル彫刻を紹介。鮮やかなアンカラ布の端切れを縫い合わせて作られた精緻な「バブル」状の作品群です。

ディスカバリーズ部門には以下のギャラリーが再び加わります。

- **タブラ・ラサ・ギャラリー** (北京、ロンドン) は、ダン・ジュによるサイトスペシフィックなマルチメディア・インスタレーションを展示。狩人が獲物を捕らえる寓話からインスピレーションを得た作品です。
- **チャプターNY** (ニューヨーク) は、ステラ・ジョンのマルチメディア・インスタレーションを出品。彫刻作品に加え、作家にとって初となる大型映像作品と絵画で構成されます。
- **バンコク・シティシティ・ギャラリー** (バンコク) は、タナット・ティーラダコンの作品を展示。架空の土産物売店を音響彫刻のインスタレーションへと変容させた作品です。

ディスカバリーズ部門の参加ギャラリー一覧は、artbasel.com/hongkong/discoveries をご覧ください。

インサイト部門

インサイト部門では、アジアとアジア太平洋地域の作家に注目した 24 の企画展を開催します。個々の作家の活動、特定のテーマ、そして 1900 年から今日までの美術史の一側面を掘り下げてご紹介し

Art|Basel Hong Kong

まず、今年は特に写真表現に光を当て、以下を含む多くのギャラリーが 1970 年代から現在までのアジアにおける革新的な写真表現の数々を展示します。

- **フラワーズ・ギャラリー**（ロンドン、香港）は、中国の急速な社会変化を捉えたアーティストデュオ、鳥頭（バードヘッド）によるイマーシブなマルチメディア・インスタレーション作品を展示します。
- **亜紀画廊**（台北）は、「プロヴォーク」の代表的存在である中平卓馬の写真の特集。昏睡状態に陥る前後に制作された作品を展示します。
- **Takuro Someya Contemporary Art**（東京）は、山中信夫のピンホール写真に加え、岡崎乾二郎の絵画と壁面彫刻を展示します。
- **Yutaka Kikutake Gallery**（東京）は、絵画と写真の融合を試みる杉浦邦恵のミクストメディア作品と、三瓶玲奈の光に満ちた油彩画を紹介합니다。

今回のアートバーゼル香港では多くのギャラリーが初参加を飾り、インサイト部門にも、香港を拠点とする著名な作家たちの作品を紹介する地元のギャラリーが加わります。

- **アナント・アート・ギャラリー**（ノイダ）は、ネオ・ミニアチュール作家アイシャ・ハリードの 30 年にわたる創作を網羅的に紹介し、タペストリー、版画、多翼祭壇画形式の絵画を展示します。
- **ネオン・パーク**（メルボルン）は、さまざまな要素を引用し重層的に構成した絵画で知られるディエナ・ジョルジェッティの新作を展示します。
- **コンテンポラリー・バイ・アンジェラ・リー**（香港）は、ユッケン・カート・チャンの作品を紹介。岩、木、水といった自然の要素を科学的に探求することで、中国の伝統的な山水画に新たなアプローチを示します。
- **SC ギャラリー**（香港）は、チョウ・チュンファイのリサーチに基づくプロジェクト《Interview the Interviewer II》を展示し、香港の視点から社会政治的な変化を批判的に考察します。

インサイト部門には、歴史的な文脈を掘り下げる展示を続けてきたギャラリーも再び参加します。

- **PTT スペース**（台北）は、台湾人アーティスト、故チェン・シンワンの個展を開催。1980 年代から 90 年代に制作されたミクストメディア作品と水墨画を展示します。
- **ギャルリ・ヴァジュ**（パリ）は、伝説的な芸術家夫妻、イ・ウンノとパク・インギョンによる絵画と韓紙に描かれたドローイングを通して、二人の創造的な対話に光を当てます。

一時期参加を見合わせていたギャラリーも復帰します。

- **ルーシー・チャン・ファイン・アーツ**（香港）は、1960 年代のニューヨークのアートシーンに触発されたハイティエン・チャオの作品を紹介。大胆な色彩と幾何学的な構成、繊細な質感によって具象と抽象を融合させた表現を展開します。
- **ジェyson・ハム**（ソウル）は、キム・ジョンウクによる情感に溢れた水墨画を出品し、抽象的な形態と哲学的な思索から人間の深層心理に迫ります。
- **シュライン・エンパイア**（ニューデリー）は、金属と土を用いて、鉱山開発による先住民コミュニティの強制移住を問うサンギタ・マイティの作品を展示します。
- **ザ・ドローイング・ルーム**（マニラ）は、ソレル・サントスによる色彩豊かなミクストメディア・アッサンブラージュとルイス・アントニオ・サントスによる緻密なシルク画を紹介합니다。

インサイト部門の参加ギャラリー一覧は、artbasel.com/hongkong/insights をご覧ください。

Art|Basel Hong Kong

編集者の皆様へ

アートバーゼルについて

1970年にバーゼルのギャラリストたちによって設立されたアートバーゼルは、近現代アートを紹介する世界随一のアートフェアをバーゼル、マイアミビーチ、香港、パリで開催しています。それぞれのフェアには開催都市や地域の特色を反映させた独自性が生まれており、参加ギャラリーや展示作品、そして地元機関とコラボレーションした各回毎のプログラム内容にもそういった特長が表れています。アートバーゼルの役割はアートフェアの領域を超えて拡大しており、新しいデジタルプラットフォームやイニシアチブ（アートバーゼルとUBSによるグローバル・アート・マーケット・レポートやアートバーゼルショップなど）を展開しています。また、グローバルメディアパートナーとしてフィナンシャル・タイムズが提携しています。詳細は artbasel.com をご参照ください。

パートナーズ UBS & コンテンポラリー

アートバーゼルのグローバルリードパートナーであるUBSは、長年にわたり現代アート並びにアーティストの支援を続けてきました。同社は世界的に最も優れた企業アートコレクションのひとつに数えられるコレクションを保有しており、アートバーゼルのグローバルリードパートナーシップを通じて、また「アートバーゼル・UBS | グローバル・アート・マーケット・レポート」および「アートバーゼル・UBS | サーベイ・オブ・グローバル・コレクティング」の共同発行者として、アート市場における国際的な対話促進に務めています。UBSはまた、世界の主要な美術機関やイベント、アートフェアの支援にも取り組んでいます。同社はUBSコレクターサークル並びにUBSアートアドバイザーの活動を通じて、アートマーケットや蒐集、レガシープランニングに関する知識を顧客に提供しています。UBSによる現代アートへの取り組みの詳細については、ubs.com/art をご参照ください。

アートバーゼルのアソシエイトパートナーは、香港政府観光局とオーデマ・ピゲです。オーデマ・ピゲは、創造性こそが文化を育み、人々をつなぎ、私たちの生活に意味を与えていると考えています。同社が展開する現代アートプログラム「オーデマ・ピゲ・コンテンポラリー」では、世界の作家たちに作品制作を委嘱し、規模や手法を作家の裁量に委ねることで、新たな表現の可能性を広げています。また、アートバーゼルのグローバルパートナーとしてルイナールとGOATも参画しています。

さらに、アートバーゼル香港は、MGM、スワイヤ・プロパティーズ（太古地産）、ローズウッド香港、ザ・ペニンシュラ、ソーホーハウス、WE ARE ONAからも支援を受けています。また、アートバーゼルのグローバルメディアパートナーはフィナンシャル・タイムズです。パートナーシップについての詳細は artbasel.com/partners をご覧ください。

アートバーゼル香港 選考委員会

ヴァネッサ・カルロス | カルロスノイシカワ（ロンドン）
マッシモ・デ・カルロ | マッシモデカルロ（香港、パリ、ミラノ、ロンドン）
エミ・ユ | STPI（シンガポール）
石井孝之 | タカ・イシイギャラリー（東京、京都、前橋）
デヴィッド・モーピン | リーマン・モーピン（ニューヨーク、ソウル、ロンドン）
ウルス・ミーレ | ギャラリー・ウルス・ミーレ（北京、ルツェルン、チューリッヒ）
張巍（Zhang Wei） | ビタミン・クリエイティブ・スペース（北京、広州）

ディスカバリーズおよびインサイト部門のエキスパート：
ジェームズ・チョン | ギャラリー・バトン（ソウル）
ジュン・ティアタジ | ROH プロジェクト（ジャカルタ）
サイモン・ワン | アンテナ・スペース（上海）

メディア関連日程

内覧会（招待制）

Art|Basel Hong Kong

3月26日（水）12時～20時
3月27日（木）12時～20時
3月28日（金）12時～14時
3月29日（土）12時～14時
3月30日（日）11時～12時

ヴェルニサージュ

3月27日（木）16時～20時

一般公開

3月28日（金）14時～20時
3月29日（土）14時～20時
3月30日（日）12時～18時

プレス認定

オンラインでのアートバーゼル香港へのプレス認定への登録は、2025年1月の開始を予定しています。詳細は artbasel.com/accreditation をご参照ください。

今後のアートバーゼル開催予定

マイアミビーチ、2024年12月6日～8日
香港、2025年3月28日～30日
バーゼル、2025年6月19日～22日
パリ、2025年10月24日～26日

オンラインプレス情報

プレス情報、画像は artbasel.com/press から直接ダウンロードしていただけます。報道関係者はメディアメンバーリングリストにご登録いただくと、アートバーゼルの情報を受け取ることができます。

アートバーゼルに関する最新情報は artbasel.com をご覧ください。Facebook ページは facebook.com/artbasel、またInstagram・Twitter・WeChat は、@artbasel にてフォローしていただけます。

プレス担当 連絡先

アートバーゼル | Fay Pang
電話 +852 3575 8487、press@artbasel.com

アジア向け PR 担当

SUTTON | Carol Lo
電話 +852 3521 2836、carol@suttoncomms.com

欧州、中東、アフリカ向け PR 担当

SUTTON | Khuroum Bukhari & Joseph Lamb
電話 +44 7715 666 041、khuroum@suttoncomms.com & joseph@suttoncomms.com

南北アメリカ向け PR 担当

SUTTON | Gill Harris & Julia Debski
電話 +1 423 402 5381、gill@suttoncomms.com & julia@suttoncomms.com

フランス向け PR 担当

CLAUDINE COLIN COMMUNICATION, A Finn Partners Company | Thomas Lozinski
電話 +33 1 42 72 60 01、thomas.lozinski@finnpartners.com